

関係者各位

## プランクトン調査結果のお知らせ

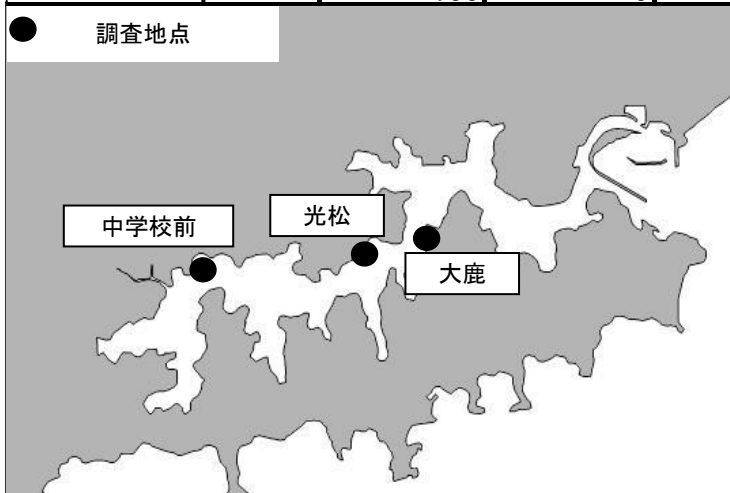
本日、午前9時に浦ノ内湾でプランクトン調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で9,400 cells/mL、シャットネラ属が最高で2 cells/mL、ヘテロシグマ・アカシオが最高で5,200 cells/mL確認されました。また、無害種とされるプロロセントラム・デンタータムが最高で8,700 cells/mL確認されました。カレニア・ミキモトイは、光松及び大鹿の両漁場で赤潮を形成しており、漁業被害が想定される細胞密度を超えていますので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなどの慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

	深度	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・デンタータム
中学校前	0m	500	1	0	1,140
	2m	600	2	0	140
	5m	40	0	0	3,550
光松	0m	4,700	0	5,200	500
	1m	4,100	0	1,400	1,400
	2m	600	0	200	8,600
	5m	37	0	0	0
大鹿	0m	9,400	0	3,700	700
	1m	6,600	0	200	300
	2m	840	0	0	8,700
	5m	100	0	0	140



### 漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ： 数百～数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ： 50,000～cells/mL (魚類のへい死)
- ・シャットネラ属： 10～100cells/mL以上 (魚類へい死)